

話題作ついに登場!!

# 信州映画列伝 人

旅人

田中要次

……(HERO/木曾町)

信州人映画監督

降旗康男……(鉄道員(ぼっぼや)/松本市)

後藤俊夫……(マタギ/伊那市)

熊井 啓……(黒部の太陽/安曇野市)

崔 洋一……(月はどこに出ている/佐久市)

山崎 貴……(ALWAYS三日月夕日/松本市)

古厩智之……(ホームレス中学生/塩尻市)

飯田譲治……(ドラゴンヘッド/諏訪市)

俳優・田中要次がめぐる映画王国 信州  
フィルムに込めた信州人の心意気

おお!  
信州人  
SHINSYU-JIN

5.17(月) 午後6:54 OA

企画:abn新番組制作若手委員会

abn

信州人の議論好きは

よく知られているけれど

言葉に勝てるのが

スクリーンに映し出される

映像の力だと信じていた

降旗康男監督(鉄道員(ぼっや)) / 松本市出身

# 信州映画監督 伝

僕が育つたのは

無機質な新興住宅地で、

遠くに見えるアルプスの山に

閉じ込められたような土地で

学生時代を過ごした

古厩智之監督(ホームレス中学生 / 塩尻市出身)

## 多くの名作・話題の映画が信州人映画監督の手によって生まれてきた。

それぞれの監督の心の中にある「ふるさと信州」は、作品のどこかにひっそり映し込まれている。監督たちの映画作りへのこだわりや「生まれ育った信州」と「映画」との関わりはどんなところにあるのか。同じく信州人で俳優の田中要次が、監督や作品ゆかりの地をめぐる信州人監督の素顔に迫る。



SHORT MOVIE

映画館まで片道1時間。2本立てを見たら、もう夕方  
おまえはここで、つまらないジジイになるんだよなあ

旅人・田中要次が自らメガホンに手にショートムービーを作成。自身の青春時代を投影させた青年が「信州」を舞台に小さな旅に出る。夢から一歩踏み出すとき、青年が見るふるさとの風景とは…。



田中要次(俳優/木曾町出身)

1982年に国鉄に就職。1987年、国鉄の分割・民営化によりJR東海の社員となり愛知県へ。それ以来、映画館通いに拍車がかかり、各地の自主上映活動などにも参加。様々なシネアストたちとの交流を深める中で、山川直人監督「SEEK AND FIND / 佐木伸誘」(1989)に起用される。その後、サラリーマン生活から脱線し東京へ。竹中直人監督「無能の人」(1991)に照明助手としての参加から始まり、録音助手、付き人、ドライバーなども経験しながら、同監督「119」までの間に数多くの作品に携わり、スタッフ兼業での闊歩映画道を学ぶ。(自身のウェブサイトより抜粋)



おお!  
信州人  
SHINSYU-JIN

俳優・田中要次がめぐる映画王国 信州 フィルムに込めた信州人の心意気

# 5.17(月) 午後6:54 OA

## PRESENT 番組を見てゲットしよう!

信州まつもと空港発着 **FDA** 航空チケット5名様  
※9月1日以降の発着便に限ります

詳細はコチラ ⇒ <http://www.abn-tv.co.jp>

